

要 望 書

鉄道網整備につきまして、日ごろから格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

リニア中央新幹線は、東京・名古屋・大阪間の時間距離を大幅に短縮し、関東、中部、近畿の各地域間の交流・連携を一層強化し、わが国の新たな国土の大動脈として、経済社会を支え、東京・大阪間の二重系化による災害に強い国土の形成、ゆとりある生活の実現に大きく貢献するとともに、内陸部における発展を促進する極めて重要な社会基盤です。

また、持続可能な地域の形成、エネルギー問題、環境問題においても、優れた特性をもつ大量高速輸送機関として期待されています。

国家的プロジェクトであるリニア中央新幹線は、平成23年5月に全国新幹線鉄道整備法に基づく整備計画が決定され、東海旅客鉄道株式会社に対して建設の指示が出されました。東京都・名古屋市間においては環境影響評価の手続を経て、平成26年10月に工事実施計画が認可され、現在、建設工事が進められているところでありますが、リニア中央新幹線の整備は、東京・大阪間を直結することで初めてその機能を十分に発揮し、効果を得ることができる事業です。こうした中、政府においても、全線開業時期を最大8年間前倒すため、今年度及び来年度において、3兆円の財政投融资を活用することとしております。

貴職におかれましては、**リニア中央新幹線の早期全線整備に向けて、とりわけ次の事項につきまして、格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。**

- 1 東京・名古屋間については、工事実施計画に基づき着実に事業を進め、早期整備を図ること。
- 2 技術開発等による大幅なコストダウンに努めるとともに、一日も早い全線開業のための具体策を引き続き検討し、更なる方策を示すこと。
- 3 名古屋・大阪間についても、概略ルート及び駅の概略位置を早期に公表し、環境影響評価の手続に着手すること。
- 4 リニア中央新幹線の早期建設のため、大深度地下使用等に関する行政手続が円滑に進められるよう、所要の措置を取ること。
- 5 今後のリニア中央新幹線の推進にあたっては、地域の発展に資するよう、駅設置に関することなど地域の意向を十分反映させること。
駅周辺のまちづくりに関する支援など、地域の活性化に資するための施策を積極的に講じること。

平成28年 11 月

リニア中央新幹線建設促進期成同盟会

会 長	愛知県知事	大 村 秀 章
副会長	東京都知事	小 池 百合子
副会長	神奈川県知事	黒 岩 祐 治
副会長	山梨県知事	後 藤 齋
副会長	長野県知事	阿 部 守 一
副会長	岐阜県知事	古 田 肇
副会長	三重県知事	鈴 木 英 敬
副会長	奈良県知事	荒 井 正 吾
副会長	大阪府知事	松 井 一 郎